

## 会議概要書

会議の名称	第3回 校務等調整委員会
日 時	令和4年6月13日（月）午後5時～6時40分
会 場	仁科台中学校 会議室
出席者	市教委：荒井教育長、竹内次長、太田参事、平林課長、松倉課長補佐、 一本木課長補佐  一 中：5名 仁 中：8名
次 第	1 開 会 2 教育長あいさつ 3 報告事項 （1）再編進捗状況について 4 会議事項 （1）開校スケジュールについて / （2）奥原希望さん講演会について / （3）部活動のクラブ化について 5 その他 6 閉 会
主な意見等	<p><b>【開校スケジュールに関すること】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合同授業について ⇒ 原案としては8月26日の総合の時間に実施予定。一中の2年生が仁中に来て、クラスを6つに分けて実施する。移動手段はバスを想定。</li> <li>・一中の職員室の机はそのままよいか ⇒ はい。</li> <li>・一中の生徒机は仁中へ移動するのか ⇒ 仁中の机を選別して、足りない分は、一中からも持ち込む予定。随時、選別は進めていただく。</li> <li>・生徒用の机・イスは ⇒ 基本的には、定期的な入替で対応。5年度以降順次対応。</li> </ul> <p>○ 一中からの移動は、開校時に不足する物品とする。同じ物品で一中にある新しい物品と入れ替えることは基本行わない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上は ⇒ カリキュラム・マネジメント、日々の授業、家庭学習などを各校研究主任が中心になって検討している。</li> <li>・通学は ⇒ 業者及び情報交通課と検討を進める。</li> </ul> <p><b>【工事・物品購入スケジュールに関すること】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期が始まってから、授業に支障がでるような工事はあるか ⇒ 本校舎の工事は音が出るものはあるが、業者との打ち合わせで、土・日曜日の学校が休日の日に工事をお願いする予定。</li> <li>・工事日程について相談いただきたい ⇒ 業者との打ち合わせには学校からも出席をお願いしたい。</li> <li>・自転車通学200台程度について、現状の駐輪場では200台は置けない。プール撤去後の駐車場に駐輪場は設置できるか ⇒ 駐輪場を設置するよう設計を進めている。駐輪の幅により置ける台数もかわる</li> </ul>

ので、確認しながら進める。

- ・工事の詳細スケジュールなど細目に打ち合わせいただきたい。例えば、工事車両の搬入経路によっては職員の駐車にも影響する。早めに職員にも伝える必要がある。

#### 【閉校記念事業に関すること】

- ・八坂と美麻の中学生は参加しない。
- ・文化祭の前日であり準備となる ⇒ 学校の中で調整をしていただきたい。
- ・生徒分担は、生徒主体で今後決める。

#### 【部活動のクラブ化に関すること】

- ・新年度の基本的な方針案である。
- ・クラブ化は社会体育活動のクラブになることか ⇒ 社体移行の前段の状態。単独で補助申請等ができるような組織としたいが、現状難しいので、学校単位で取りまとめていただく。当面、学校はお手伝いをお願いしたい。保護者に運営を移行していきたい。
- ・国が進めている来年度からの休日の外部指導について、市で外部指導者の人材バンクみたいなものを検討されているのか。また謝礼は、クラブ毎に金額が違うがよいのか（指導者の確保と保護者負担） ⇒ 指導者は毎日5時に出ていただけるような人材は確保できないと考える。週1回あればよい方で、見つからない場合も想定されるので、保護者の責任において探していただくと同時に、社会体育や体育協会とも協力して、これまでも行っている。取り組みは進めないといけないことは理解している。謝礼は、学校から切り離されるので、クラブの中で指導内容や活動により判断してもらうもの。
- ・部活動の時間について、職員の勤務時間に合わせてあった ⇒ 休憩時間を考慮して午後5時としたが、勤務時間に合わせて午後4時40分とする。勤務時間とクラブ活動の時間を明確にする。
- ・顧問について、中体連の大会の引率は学校管理下になるのか ⇒ はい。県の中体連の報告が示されていないため。
- ・中体連・新人戦の大会参加については校務で費用弁償も学校で行う ⇒ はい。
- ・手当も対外運動競技（大会）の8時間については基準に従って支出する。部活動手当もその時はある ⇒ はい。これまでどおり。
- ・職員に示してよいか ⇒ 方針案であることで、ご意見を伺っていただいて構わない。
- ・県指針に従って実施していただけるとよいが、クラブの後で、さらに別団体を登録して同じ選手で活動することも想定されると子どもたちへの負担が出てくる ⇒ 活動自体は問題ない。